

平成19年度財団法人山形県体育協会事業報告

1 県民総スポーツの推進に関する事業

(1) 地域団体（市町村体協等）の活性化

- ① 市町村ジュニアスポーツ振興事業（7町村体育協会）
中山町・河北町・大江町・金山町・大蔵村・川西町・遊佐町

- ② 地区体協連絡協議会の活動支援（7地区）

(2) スポーツ少年団の育成（別紙）

(3) 社会体育指導者の養成と活用

- ① 地域スポーツ指導者養成講習会の開催
開催種目なし
- ② 県スポーツ指導者協議会への活動支援

(4) 総合型地域スポーツクラブの育成・活動支援

- ① 総合型地域スポーツクラブの育成支援
 - ・クラブ育成委員会の開催（2回）
 - ・クラブ育成アドバイザーの配置（1名）
 - ・育成指定クラブへの創設に向けた指導と支援（8クラブ）
 - ・クラブマネジャー養成セミナーの開催（共催）
 - ・啓発フォーラムの開催（4回）
 - ・育成指定クラブ連絡協議会を「サミット in 山形」として開催
 - ・指定育成クラブに対する現地ヒアリング（8クラブ各2～4回）
 - ・日本体育協会開催会議、研修会への出席
（クラブミーティング2回、生涯スポーツコンベンション、担当者会議）
 - ・市町村への総合型クラブ設立に向けた普及・啓発活動（21回）
 - ・啓発用リーフレットの作成
 - ・その他総合型クラブ育成に向けた活動（会議・広報等）

② 総合型地域スポーツクラブの活動支援

山形県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が行う各事業に対し助成を行った。

2 競技力の向上に関する事業

- (1) 強化コーチングスタッフ及び強化指定選手の指定
第62回国民体育大会本大会及び第63回国体冬季大会において優秀な成績を収めるため、989名のコーチングスタッフ及び強化指定選手の指定を行った。
- (2) 国際競技大会出場選手等に対する激励費の交付
延べ18名の選手・監督に対し激励金を交付した。
- (3) 山形県スポーツ指導者講習会の開催（共催事業）
「エンジョイ・スポーツセミナー」として、日本体育協会・県体育協会の主催、文部科学省・県教育委員会・県高等学校体育協会・県中学校体育連盟・県企業スポーツ振興競技会・スポーツ安全協会山形県支部の共催で実施した。
期 日：7月21日
会 場：山形県総合運動公園
内 容：講演 ○スポーツと栄養 柳沢香絵（聖徳大学）
○遊ぶことから始めよう 海老原修（横浜国立大学）
○タレント発掘がスポーツ振興に与える効果 勝田 隆（仙台大学）
参加者：197名
- (4) 女子駅伝強化事業
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に出場する本県チームの強化事業に対し助成を行った。
- (5) トレーナー帯同支援事業
国体及び東北総体において、選手のコンディション調整等を行い競技に万全を期することを目的にトレーナーの派遣を行った。
○東北総体 サッカー・ボクシング・ソフトボール・ホッケー
バドミントン・ラグビーフットボール
○国体（本大会）水泳・ボクシング・バスケットボール・剣道
陸上競技2・卓球
○冬季国体 スケート
スキー3（アルペン・クロカン・ジャンプ）
- (6) スポーツタレント発掘事業
本県から国際舞台で活躍する選手を輩出するためのスポーツタレント発掘事業の総合計画を策定する検討委員会・検討部会を開催し、マスタープランを作成した。

3 競技強化特別対策事業

(1) 優秀指導者・選手確保事業

スポーツアドバイザー1名・スポーツ指導員3名・スポーツ技術員5名を採用し、強化指導の実施・全国規模大会等への派遣を行った。

(2) 競技強化支援事業

①山形県スポーツ振興21世紀協会が行う競技力向上事業及び普及事業に対して助成を行った。

②山形銀行女子バスケットボール部が競技力の向上や普及のために、スポーツ少年団、中学・高校の選手に対して行うクリニックへ助成を行った。

(3) 企業スポーツ支援事業

企業スポーツの活性化と競技力向上を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」への助成を行った。

4 各種大会の開催並びに派遣に関する事業

(1) 第62回国民体育大会県予選会兼東北総合体育大会山形県予選会

主会期 7月6日～8日

実施競技 38競技

参加人数 7050人

(2) 県内スポーツフェスティバルの開催（少年少女スポーツ交流大会）

主会期 10月7日 県内各地

実施競技 16競技

参加人数 4987人

(3) 第34回東北総合体育大会

会場 福島県内各地

主会期 8月24日～26日

実施競技 38競技

参加人数 1242人

(4) 第62回国民体育大会（本大会）

会場 秋田県内各地

主会期 9月29日～10月9日

実施競技 37競技

参加人数 577人

成績 男女総合 853.5点 33位

女子総合 469.5点 29位

(5) 第63回国民体育大会県予選会（冬季）

スケート競技

平成19年12月8日

山形市総合スポーツセンタースケート場

アイスホッケー競技

平成19年11月2日～4日

ウエルサンピア屋内スケート場

スキー競技

平成20年1月18日～21日

アルペン 蔵王ライザスキー場

クロカン 真室川町秋山スキー場

ジャンプ 蔵王温泉スキー場

(6) 第63回国民体育大会冬季大会

スケート・アイスホッケー競技

期 日 平成20年1月26日～2月1日
会 場 長野市
参加人数 20人
成 績 男女総合成績 44.5点 18位
女子総合成績 0点

スキー競技

期 日 平成20年1月26日～2月1日
会 場 長野市
参加人数 20人
成 績 男女総合成績 43.5点 7位
女子総合成績 29.5点 5位

(7) 国体及び東北総体出場選手に対するユニフォーム作製費補助

《補助内容・一人》

東北総合体育大会	1,000円
国民体育大会(本大会)	6,150円
国民体育大会役員用(本大会)	15,000円
国民体育大会(冬季大会)	17,500円

5 加盟団体育成に関する事業

- (1) 競技団体の育成(競技の普及および強化事業の推進)
国体正式種目外の競技団体に対し、強化費を交付し強化を推進した。
- (2) 地域団体の育成(地域スポーツ振興事業の助成)
地区体育協会及び地区体育協会連絡協議会に対し、助成金を交付し地域スポーツ振興の助成を行った。
- (3) 学校体育団体の育成(中体連・高体連の事業に対する助成)
県中体連・高体連に対し助成金を交付し連盟事業の促進を図った。

6 広報に関する事業

- (1) 県体協機関紙「スポーツ山形」56号・57号の発行
広報誌を発行して情報の発信に努めた。
- (2) スポーツ少年団広報紙「大空に翔る」24号の発行
- (3) 総合型地域スポーツクラブ啓発リーフレットの作成
- (4) ホームページによるタイムリーな情報の発信
- (5) 資料展示室の整備・充実
- (6) 体協要覧の発刊

7 顕彰に関する事業

本会表彰規程に基づく顕彰

- | | |
|--------------|-------------|
| ① 殊勲賞 | 団体 5・個人 32名 |
| ② 奨励賞 | 団体 2・個人 9名 |
| ③ 功労賞 | 17名 |
| ④ ライオンズスポーツ賞 | 5名 |
| ⑤ 感謝状 | 1名 |
| ⑥ 特別賞 | 団体 1 |

8 財政の確立と組織体制の確立

- (1) 財政基盤の確立
 - ①財務委員会において財政基盤の整備・拡大について検討を進めた。
 - ②賛助会員の拡充を図った。
 - ③免税募金の制度を活用した募金活動を行った。
- (2) 専門委員会活動の充実
専門委員会の体制を検討し、委員会規程を改定し、新委員会を設置した。
- (3) 事務局組織体制の充実強化

9 スポーツ医科学活動の推進

- (1) 日体協公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレチックトレーナーの資格取得促進と活用
- (2) 「スポーツ医科学研究報告書」の作成
- (3) 国体への帯同ドクターの派遣
 - 本大会 3名
 - 冬季大会 2名
- (4) トレーナー帯同支援事業
延べ17名を派遣
- (5) アンチ・ドーピング普及・啓発事業の推進
 - ①国体参加選手・監督・スタッフに対し講習会を実施し、啓発を図った。
 - ②ドクターズミーティングへのスポーツ医科学委員会委員の参加

10 事故防止と補償制度の活用

- (1) スポーツ活動における事故防止の徹底と補償制度の活用促進
 - ①国体県予選会参加時に、全選手・監督・役員の補償制度への加入
 - ②東北総体・国体参加者への補償制度加入料の助成を行った。
- (2) (財) スポーツ安全協会山形県支部との業務連携

《参 考》

1 開催会議等

① 県体協理事会	3 回
② 県体協評議員会	2 回
③ 県体協各専門委員会	
企画委員会	2 回
財務委員会	2 回
強化委員会	2 回
普及委員会	1 回
施設委員会	1 回
スポーツ医科学委員会	1 回
④ 東北総合体育大会代表者会議	1 回
⑤ 国民体育大会代表者会議	1 回
⑥ 国体県予選会実行委員会・事務局会	1 回

2 出席会議等

① 日本体育協会評議員会	2 回
② 日本体育協会加盟団体事務局長会議	1 回
③ 都道府県体育協会連合会総会	1 回
④ 都道府県体育協会連合会事務局長研修会（東地区：北海道）	1 回
⑤ 都道府県体育協会事務局職員研修会（大分）	1 回
⑥ 東北六県体育関係者会議（東北 6 県体育協会連絡協議会）	2 回
⑦ スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会	2 回